磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集人発行人 長瀬芳郎

印刷ハ
長瀬印刷所
小名浜町 電219

教委にはどんな町議を
是非超黨派的な人
遠山海上保安部長

市町村教育委員會が十一月一日より発足するがこの委員会の仕事は從來縣教育委員會に於いて行つてきた教育行政のうち「教科書内容に關する一切」「教科書の採擇」「教員の人事」「研修關係」などに、市町村の學務課や學校長がやつていた「就學に關する事務」「學校の設置及び管理」「社會教育關係」などであり委員会の構成人員として誰をよりどんな人を送るかについては各地ともに一般より重大な關心がもたれている

教育委員會の意向を町村議会に充分に反映せしめることが議会から選任される委員の仕事であると思われる点よりみて自己の感情、自派の利害などに拘泥してその爲に強弱を加える樣なことがあつては絶對にいけない、是非超黨派的に非私的な人を選任してもらいたい、眞の子供の氣持ちを理解し子供の世界を把握出來る人格者、そして眞に健全で眞面目な明朗な家庭の人を希みたい、殊にこと教育委員に關しては健全な明朗な家庭を持てない樣な者には何も出來はしない「英雄色を好む」と云つて二號 三號をとしらえて得意になつて居る者も居るが家庭の平和を亂だし、家族を苦しめる樣な人間がいくら人の爲などと云つても出來つとは絶對にない、健康で明朗な家庭からのみ健全な良い委員が生れると信ずる。そうゆう人一語にして云えばあらゆる意味から云つて人格者である人が選任される事を希みそうゆう人なら安心して愛兒の教育を御願い出來ると思う

委員によつて委員会に一つの性格が出來るとすれば 視野を闊ろく持つて技術教育は第二としても先ず人間的な精神教育の出來る人に願いたいと思う、自覺をまつと云うとも良いが日本の歴史から見ても二千年來上から與えられて來たのでありその文化水準が高ければ兎も角現在ではやはり手ぬるい感じがする、良いことと惡いことと人間として守るべき道德の基本は示めしてやるべきだと思つている

兎に角次の時代の日本を背負つてたつ青少年の教育であるから人間的な精神教育をあせらずにやつて呉れる人の選任されることを希む、と云つて修身科の復活を希望する譯ではない

精神教育の出來得る人
菅野水産試験場長

実は私自体教育委員会そのものがよくわからない実際に於いて委員に當選された方々の中にも良く理解しておらん人もいるのではないかと思われるくらいだ

名譽欲とか、政治的足場とか、或いはまた權勢欲とかそんな感じがしないでもない、そして私の欲を言えば一つの階層だけでなく多くの階層から出てもらいたかつた、そんな意味からも今度の町議会から選出される一人の

海區調整委員會
運營方針等を協議

縣海區漁業調整委員会は九日午後一時より平市縣水産事務所に委員は齋藤誠吾氏をはじめ三代義勝、熊川稔、遠藤兵吉、長谷川長太郎、牛渡喜相、佐藤鶴松、寺島源治、岸辰巳の八委員（鈴木常松委員は出張中）出席、縣水産課より松井技師ほか一名參加して開催され、公聴会及び公開聴開に關する手續規程を原案通り可決、次の事項について協議した

一、公聴會及び公開の聴開に關する手續規程は原案を可決

二、茨城常陸海区調整委員会との調整協議會には石城郡選出委員が當る

三、宮城南部海区、福島海区調整委員會との調整協議會は相馬郡選出委員が擔當する、なお調整協議会に於いて折合が出來ぬ場合は法的に連合委員会を設置して調整に當る

次いで協議事項に入り委員會の運營方針を次の通り決定した

①各種漁業權の利用狀況を把握指導する
②漁業の協同化（組合自營など）の促進及び育成を圖る
③入漁の調整
④漁業權許可及び自由漁業相互の調整
⑤小型機船底曳漁業に対して調整指導する
⑥漁業秩序確立のための指導啓蒙を行う

などでありその方法として

①縣内各漁業協同組合の視察
②各種漁業權の利用狀況を調査する
③たこ壺漁業について現在許可漁業の申請中のものは全部許可する

などであり視察については予算十五万円を計上して三回に亘り縣内漁業を視察することになつた最後に專門委員会設置については縣は予算の關係で五名程度にしたい意向であるが全委員会は十名設置案と問題に應じて緊急に設置するの二案をもつており次回再檢討の上決定することになり五時閉会した

平の舞踊會（登柳會）
新舊藝妓組合も出演

平市登柳会では花柳登代藏氏の在平二十周年を記念して来る二十五、六日の兩日午後一時より平市公会堂に於いて舞踊會を開く、初日は平料藝妓屋組合、二日目は平料藝組合が出演するもので番組及び出演者は次の通り

▽番組

初日＝長唄「種まき三番叟」花柳登代藏、常磐津「三保の松」清元「鞍馬獅子」以上登柳会、常磐津「三つ面子守」長唄「鷺娘」常磐津「連獅子」清元「かさね」長唄「京鹿子娘道成寺」常磐津「山姥」花柳登代藏

二日目＝長唄「種まき三番叟」常磐津「三保の松」長唄「羽根かむろ」清元「神田祭」以上登柳会、長唄「藤娘」清元「忠信」長唄「橋辨慶」清元「白玉權五郎」常磐津「將門」清元「夕立」長唄「連獅子」常磐津「山姥」

出演者

登柳会＝齊藤美子、稻川路子、石山智以子、石山佳代子、伊藤公子、勅使河原久子、藤田照子、岸澤典子、津山奈智子、羽田祐子、塙京子、西野谷惠美子、新田目孝子

舊組合＝きた子、君松、花香、つた次、小雪、照子 笑子、夢路、みよ子

新組合＝深雪、とみ子、小菊、おもちや、百合子、竹千代、〆子、壽々代、小つる、壽美子、市子

保護司の協議會【小名濱】

小名浜地區保護司協議會は十三日午前九時より小名浜町公民館に於て開かれるが、これは十日午前十時より公民館ホールに於て十月分生活扶助料の拂渡しを行つた際、平福祉事務所遠藤、猪狩兩福祉司を招いて生活困窮者の相談に應じたその結果についての對策、その他一般福祉保護問題などを協議するものである

石城農協連の職員大會

石城農協連合会では十二日午前九時より赤井村第二小学校に役員三百余名參集して第二回職員大会を開き、財務の確立運動、共販体制確立運動、生產事業の強化、待遇の改善など四項目について協議を行い、終つて午前十時より全校々庭に於いて運動会を行う

農改推進員の協議會

小名浜町農業改良推進員協議會は十日午前九時より公民館に於いて大浦經濟課長はじめ推進員十五名が出席、湯本農業改良指導所より櫛田技師ほか一名を招いて本年度の事業計畫、秋冬作栽培管理家畜の管理などにつき協議を行つた

磐農二部校舍の上棟式

勿来町窪田地内に建築することになつた磐城農業高等学校第二部校舍は總工費千二百万円をもつて東京鉄道工事KKの手により着工したがいよ／＼来る二十二日上棟式を行うことになつた

さて今年の冬は
小名濱測候所の話

蒸暑い夏型の天候も去り朝夕は一入寒さを増すばかりでありここ二、三日の氣温は最底十三度で朝晩は大体二十一度から二十二度でぐづついた天氣が續き「せつかくの稔りの秋もとう降つたり曇つたりでは」と心配顔

さて小名浜測候所の託宣によると十月は中旬頃にかなりの低温があり、下旬には幾分高目となるも月末頃は再び弱い低温が現れて平均して低目であり、雨の多いのは二十日前後で月全体としての雨量は平年並である

十一月は：氣温は平均して並か稍高目である下旬は低温の見込みで雨量も多い

なお冬の予想は十二月は上、中旬とも低温が續き平均低目でしよう、一月は中旬頃一時低温が現れるが平年並か僅か低目、二月は稍低目となり三月は大体平年並で冬の積雪は例年並か稍多目になるものと思われる

天氣豫報 11

【本日】北の風曇り勝ちで時には俄か雨もありますが後には晴れましょう

サンマ四万五千貫揚る

本格的な漁期に入つたサンマ船は好漁を續けており小名浜には九日の四万貫に續いて十日小名浜小野定治氏所有第五天榮丸（二七、七噸）外五隻で四万五千貫の水揚があり魚價も前日よりグツと下り百十六円から九十四円であつた

【海上】風波があり特に沖合は時化模樣となりますから漁船は注意を要します

魚菜市況 10

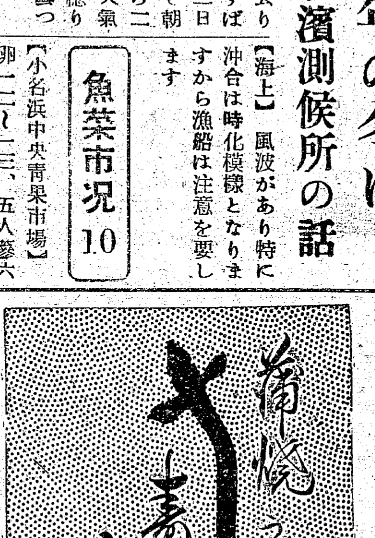
【小名浜中央青果市場】卵一二〜一三、五人參六〇〜一〇〇なた豆一五〜七〇甘藷二五〜四七馬鈴薯二〇〜四〇茄子一一〜三〇栗八〇〜一二〇葱一〇〜四七胡瓜三六〜一八一丸大根一五〜三〇大根八〜三六白菜五〇〜八〇玉葱一〇〇〜一三五柿四五〜七八里芋五〇〜七〇へらな三〇〜三五梨六〇〜九〇ほうれん草（一束）三〜六

【小名浜魚市場】さんま九〇〜一一六

経費をかけずに良い品安く
専門店会チケット御利用下さい

御子様へ御菓子
動物ヨーチエン百匁60円
ビスケット 百匁50円
學生さんへ
上質ノート16枚 5円
上質大學ノート15円より
野球帽55円より110円
御嬢さん奥様へ
夜具地 反 270円より
白生地ヤール 55円より
化粧品御[illegible] メヌマ ジユジユパピリオ 80円
花王洗濯石鹸徳用型10円
御勤の皆様へ
純毛セーター850円
ビロード黒婦人靴590円
男女雨靴530円より各種
純毛メリヤス1500円
小名浜第二小學校前
皆様の店 平マーケット
電話297番

植田町唯一のパチンコホール
◆新銳機百數十台取付
◆ビックリする程良く入る
◆只今評判の『皆人家（ミナトヤ）』
◆スルリ興味共に百パーセント
◆文化人の健全娯樂 パチンコは
◆常に良心的で大当りの「坂本」へ
植田町金畑（駅前通り）
みなとパチンコ遊技場
電話 植田一七番
大当り連日 大好評



パーマと美顔は……
小名浜町 本田美容室へ

ムダなく長く使える
ゴム製品として皆が
進で愛好し丈夫さを
弘く知られてゐる
馬弘進印をお求なら
三倍以上はお得です
小名濱才一小学校前
三馬弘進ゴム代理店
小島ゴム店
電話三四〇番
水産用合羽・前掛、ゴム製品一式

富士野球愈々開幕

本命富士クラブか

失策賞は果して誰に

既報本社後援による日米富士自轉車株式会社主催の恒例富士軟式選抜野球大会はいよいよ本日正午より小名浜第一中學校グランドに於いて華々しく開始されるが本社は例年通り大外籔賞を贈つて受賞選手を慰撫?することになつているが果して誰の手に、また何が贈られるか

昨秋本大会の決勝に於いて全小名浜に敗れた小名浜SBは今回富士クラブと改稱して出場するが呉羽と共に本命と目されており、過般全小名浜とオープン試合を行つて三ー一にて輕く破つているが當日はメンバーも揃わず補欠の選手を使用した点よりみて大会には実力も倍加されるものとみられている、何しろ高等學校生によつて編成されており、若さに物を云わせて調子にのれば何んとも手のつけようがないが、一面くずれ方も早やいようである、投手は小名高の宮下と平工高の布施、何れも縣下高校野球界に名をなしている豪の者であり宮下の懸河のドロップ益々さえてきており宮下の調子が順調であればそのスピードにバットを振り切れるものはそうザラにはないと思われる布施も過般の郡下高校新人戰に快腕を振つて平工を優勝にもつていつた点より相当の活躍が期待される、捕手吉田は投球にグセがあるが捕球はマアマアの部であり、彼の身上はその打撃にある、何しろトップの布施より二番吉田、三番大江、四番松本（藤）五番小野、六番宮下と續くところは實に見事なもので各チームの驚異の的となつているようだ

施田江（藤）野下田田田
本
布吉大松小宮梅木杉
628531497

火災予防週間

小名濱の行事決る

愈々火災シーズンを迎え年々莫大な損害を被つて居る火災から、人命財産を護りぬこうと全國的に十二日から十八日迄火災予防週間を實施されるが小名濱町消防署でも此れに呼應し週間中は連日に亘つて防火思想の徹底、消防態勢の強化のために商工會のマイクや映画館の休憩時を利用して啓蒙宣傳を行い紙芝居、ポスター、講演等によつて学童を通じて各家庭の隅々に迄徹底を圖り或いはまた懇談會座談会を各所に開く一方十五日には隣接町村と合同して消防自動車を連ねて防火思想の普及宣傳行進、十七日には非常召集、模擬火災訓練飛火警戒などの消防訓練を行うこととになつた

小名浜町は滿一ヶ年無火災に過ごして居るので町民の協力を得て今後もこの記録を益々更進して行こうと設備訓練に万全を期す一方町民の強力な理解と協力を希んで居る

なお國家消防本部の調べによる本年度上半期の火災件数は一万二千七百三十四件であり過去五年間の平均件數を上廻つている、また三百十三名の尊い人命を失つており、三百六億圓を灰にしている　これを國民一人当りにすれば二百七十円の損害となつており、この火災の原因については失火が約八五%五を占めており、しかもその過半數が煙突電氣関係、タキ火、煙草の吸がら、取灰の不始末などとなつている

石灰上窯に焼死体【赤井】

赤井村赤井字畑子澤賣炭業竹田幸助（三七）さんが八日午後六時半ごろ自宅より約五十米離れた平市爾宜町瓦業赤津運兒（四三）さん方の石灰窯の上で燒死しているのを九日午前九時ごろ赤津さんが發見、平地區署にて取調べたところ八日夜酒に酔い雨に打たれて着物を乾すために窯の上に横になつているうち居眠してガス中毒を起し窒息死してから燒けたものと判明した

水素勞組の要求

一時金二万九千円

既報〃日本水素小名浜工場勞組の中央委員会は八日正午より全組合事務所に開き協議した結果次の通り決定、直ちに荘野社長及林水素商事社長に對して要求書を手交した

一、一時金＝一人平均二万九千円（獨身者一人二万五千円、家族二人及六才以上一人につき二千五百圓、五才以下一千五百円、八人以上七百五十円）

二、結婚資金＝一人二万五千円

三、特殊作業手当＝硫酸肥料、メタノール各現場は一日八十円、ガス工場發生炉一日四十円、硫酸工場ホット、コットレル内作業一時間に付二百円

四、社宅の增設と完備

①入宅希望者を收容出來る戸數の設備

②玉露社宅に水道設備を設けること

③辨別社宅へ工場より直接送電すること

④社宅入住現定を作成し實施すること

五、技工支部（臨時工）全員に對して正社員と同樣の勞仂條件及待遇をなすこと

水試の海、漁況

小名浜縣水產試驗場では最近における海況及漁況について次の通り發表した

▽海況△……ポリイ颱風の通過後金華山鹽屋崎近海の水温は著しく降下した、九月末まで金華山近海にあつた水温二一度前後暖流水帶は消失し亘岸約五〇マイルまでは殆んど水温一九度台の水帶で蔽はれている

▽漁況…サンマ漁は依然トド崎沖四〇マイルより一二〇マイル即ち北緯四〇度三〇分東經一四四度四五分附近から沿岸寒流が南下してこの兩寒流域が最近のサンマ漁場となつている、しかし月夜廻りのため火付惡く漁は振はない、また沖合の北緯三九度三〇分東經一四七度に於てサンマの大群が見られて大型船が出漁している、カツオは鹽屋崎五〇マイル〜金華山四〇マイルにかけて操業されている、餌付はよいが大したことはない、なお沿岸の各港に於けるサンマ水揚高及体長は

△水揚高（十月一日〜五日まで）鹽釜港……十九万二百五十貫

石の巻……七万五千七百貫女川港……三万六千二百九十貫

△体長（一四五マイル以内）二十七、二十八糎程度が最も多く獲られており二十五、二十六、二十九糎がこれに次いで最少の十九糎及最大の三十四糎程度のものは餘り獲られていない

短刀もった平の追はぎ

八日午後十時二十分ごろ平市下平窪丸一材木店の店員渡邊與平（二六）さんが仝地内の磐城橋を通りかかつた際、後ろからついてきた年令三十四、五才、身長五尺五、六寸ぐらいの男が短刀のようなものをもつてきたので渡邊さんは驚いて傘を投げつけて逃出し平市署に屆出たため市署では全署員を招集して非常線をはり犯人捜査を行つている

足利の織姫たち

―女工の哀史再現―

法政大学勞働法研究会

二、法意識…彼女達の幾らかはこうした長時間の低賃金で酷使されるため二、三年もすれば疾病を得て家に歸され、明日への望みを斷たれてしまうのである、そのような実情にありながら織姫達は勞仂條件の改善などには何らの関心ももたず、殘業による割增賃金など、そんな制度があるのかと云つたような有様で近代的な意識は殆ど無く組合は僅かに三ヶ所にて組織されているに過ぎず、その組合組織をもつているところでさえも勞働條件の改善などについてはこれと云つた活動も示していない、勞働が契約関係であることとすら知らないものが多く自己の磨減を自巳で招來しているといつた形である

三、勞仂市場…こうした事実は明らかに典型的な日本型勞仂關係そのものであり、所謂〃腰から下は農民〃であるといふ言葉が示すが如く、大半は足利近鄉の貧農を父兄とする女達なのである、彼女達は家にあれば毎日腰までドロにつかつて野良仕事をしても何一つ自分の慾しい物が買えるわけでもなく、たゞ一家全員の口糊をうるおすに足りない收入の爲に働かなくてはならない、ためにそれより少しでも自分の自由になる金を手にしてみたい、そして出來得れば嫁入支度の資金にもと一つの娘心が手傳つて家を出てくるのである

また親にしても一人でも口前がへることはその日暮しの貧農にとつては悲しい中にも救いの一手なので敢て反對もしないというのが通例の様である

そのため女工の三分の二は通勤者であり、電車、自轉車或は徒歩にて通つている、これは近郊の貧農を主要なる勞勵市場としている結果と思われる

こうした結果を生み出すものは勞働者の貧困さのみではなく、資本の零細に大きく原因していると云わなくてはならない、何となれば住込制にすれば食の確保と寢具の設備の完備は使用者のまぬかれざる要求でなければならぬ、少し位遠方でも通勤可能者を利用し得るととはとの馬鹿にならない宿舍の設備をしなくてもすむからである

足利の中小企業家は日紡などの大企業に對抗してゆくためにはこうした点までも切りつめて行かなくてはならないのである

その通勤範圍は五キロであるが、長時間の勞働を強要するために半住込制をとつている所もある、

最後に強調したいのは、未だに人身賣買が行われていることとである、その形態は從來のものと異り一定期間幾らとして期間滿了時にその金額の支拂をなすというものでありその期間滿了迄は主人の家に同居して家事まで含めた强制勞仂が行われるのであるが、途中で歸つては金が貰えないため苦しみながらも期間滿了までは働き續けねばならないことは、形こそ變れ從來の前借制度と何等變る所がなくむしろ惡化している、前借制度であれば傭入れの時に金額の前渡しが必要であるが、この形式を利用するなら、それだけの金が企業面に運用することが出來るのであり使用者にとつては一石二鳥の有利な方法である、こうしたことは僅かの數ではあるが見逃し得ない事実である、それも遠く秋田、福島の東北地方から賣られてくる者が多く、十五、六の中學を出たばかりの者や、ひどいのに至つては十二才で親元を遠く離れて來ている者が三名もあつた事実は何を物語るであらうか

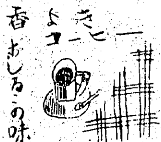
業者のすべてが中共との貿易を熱烈に求めていることを附記して擱筆する

……十月一日……

高級車なら
富士自轉車を

秋期サービス!!
九月十月一杯
輕飲食店 スナック
◉すべてを取揃へてあります
小名浜町水素前通り

一番良い時候になりま
シたこちらは今度新し
ク横町に開業した小が
タ専門のタクシーミナ
トですスマートで安価
ナ皆様の小型を何卒お
ミ捨なくお引立下さい
小名浜町上横町
ミナトタクシー
電話五九番



おいしいお菓子
楽しいお店
一きコーヒー
よ香おしるこの味
小名浜町橋本電〃
國華堂賣店

秋・冬服地入荷
純毛服地專門店
良い生地で良い仕立、そして出來るだけ安く
これが當店のモツトーです
皆様のチケツトを御利用下さい
大井洋服店
小名濱町本町通り

電話早見表発行について

昭和二十五年以來小名浜に於ては全局区内の電話番号早見表は印刷されて居らず、加入者は非常な不便を感じているため本社は本年度の新設電話をも含めた新しい電話早見表を發行する事になり、印刷に取りかゝつておりますが、この早見表には一般廣告の掲載余地もありますので希望者は至急お申込み下さい、御連絡あり次第社員を參上致させます

昭和二十七年九月
磐城日日新聞社

第10回平競輪開催
10月 11（土） 12（日） 13（月） 18（土） 19（日） 20（月）
▲毎日一午前10時半発走◀
平駅前より競輪場迄無料バス運行